

技能評価システム移転促進事業(SESPP)は日本式技能評価のノウハウを移転するため、ベトナム、カンボジア、インドネシア、ラオスを対象に日本の専門家によるセミナーや技能評価トライアルを実施しています。事業の運営事務局を株式会社 J T B 霞が関事業部にて受託しております。日本式の技能評価の活用促進が図れるよう、J-Skills Newsでは、事業の取組などをお知らせしています。(年3回発行)

## □ラオス・インドネシア・カンボジア・ベトナムで2024年度現地事業評価を実施

SESPP事業の効果的・効率的な実施を図るため、対象国における技能労働者のニーズの把握、広報手法や取組職種・等級の検証、中長期的課題の把握等を行うことを目的として、活動対象国であるラオスと1月17日(金)、インドネシアと2月5日(水)、カンボジアと2月21日(金)、ベトナムと2月24日(月)に官民合同委員会が開催されました。参加メンバーは各国政府人材開発部局、現地職業訓練施設、厚生労働省、SESPP事務局及びその他本事業に関係する者で構成され、当年度事業の実施状況や成果、次年度実施に向けた提案、意見交換等が行われました。

### ■ラオス

日時 参加者	2025年1月17日(金) ラオス時間9:00-11:30 技能開発院(SDI)、ビエンチャン技能開発センター(VSDC)、厚生労働省、在ラオス日本大使館、ラオス日本人商工会議所、SESPP事務局
参加者数	17人
本年度の実施内容	<b>技能検定</b> ・配電盤・制御盤組立て作業 3級職業訓練技法講習(VTM)、2級技能評価者講習(SAT) ・機械検査3級 技能評価者講習、技能評価トライアル(SET) <b>その他</b> ・本邦研修： 技能評価システム普及セミナー
次年度の職種に係る提案内容	<b>技能検定</b> ・目標：SESPP協力職種の国家検定の構築 ・活動：2024年事業のフォローアップ(技能評価トライアル) 職種案：配電盤・制御盤組立て作業2級SET、機械検査3級SET
今後の取り組みに向けた意見交換	・中長期的な支援を依頼する。(SDI) ⇒日本の国家予算は単年度事業なので、確約は難しいが、ひとつの職種が終了するまで4年程度かかることから、中期的な計画を共有しながら事業を進めたい。(厚生労働省) ・12月～1月は、ラオスの年度末・年度初めとなり、受講者を派遣しにくくなるため、研修の実施時期から外してほしい(SDI) ⇒日本の会計年度は4月からとなるので、事業開始は4月以降となるが、専門家と相談のうえ、ラオス側の希望を踏まえ研修実施時期を設定したい。(厚生労働省)



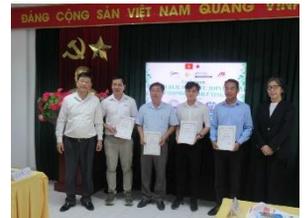
ラオス官民合同委員会



インドネシア官民合同委員会



カンボジア官民合同委員会



ベトナム官民合同委員会

## ■ インドネシア

日時 参加者	2025年2月5日(水) インドネシア時間9:30-12:00 国家職業資格認証機構(BNSP)、金属・機械加工分野試験協会(LSP-LMI)、インドネシア金型工業会(IMDIA)、在インドネシア日本大使館、厚生労働省、SESPP事務局及びその他関係者
参加者数	28人
本年度の実施内容	<b>技能検定</b> ・機械製図(CAD作業)2級 技能評価者講習(SAT)、技能評価トライアル(SET)
次年度の職種に係る提案内容	<b>技能検定</b> ・目標：技能評価システム（技能競技大会・技能検定）を構築することにより、技能労働者の育成及び能力向上を図る。 ・活動：2024年までの事業のフォローアップ（技能評価者講習、技能評価トライアル）、新たな職種への取組 職種案：2024年度までの事業のフォローアップ（平面研削盤2級SAT/SET）、新たな職種への取組
今後の取り組みに向けた意見交換	・5軸マシニングセンタ、メカトロニクス、CAD/CAM等より現場の作業に即した職種の実施を希望。(IMDIA) ・機械製図(CAD作業)は、SESPPの支援のもと、2019年度より実施しており、2019年度から2024年度の6年間で、3級は90名が受検し43名合格(合格率48%)、2級は24名が受検し13名合格(合格率54%)の結果となっている。 ・日本の仕組みに基づいて開発、実施した職種については、日本の実施機関の資格として認証することを認めてもらいたい。(BNSP)

## ■ カンボジア

日時 参加者	2025年2月21日(金) カンボジア時間09:00-12:00 労働・職業訓練省(MoLVT)、厚生労働省、在カンボジア日本大使館、NPIC、NTTI、PPI、ITI、SESPP事務局
参加者数	23人
本年度の実施内容	<b>技能競技大会セミナー</b> ・情報ネットワーク施工 <b>技能検定</b> ・配電盤・制御盤組立て作業2級 技能評価トライアル(SET)、技能評価者認定(SAC) ・電気系保全2級 技能評価トライアル(SET)、技能評価者認定(SAC) ・機械検査3級 技能評価トライアル(SET)、技能評価者認定(SAC) <b>その他</b> ・本邦研修：技能評価システム普及セミナー
次年度の職種に係る提案内容	<b>技能競技大会</b> ・目標：技能競技の実施に向けた競技課題作成、採点・評価方法、技能競技運営方法の習得 ・活動：日本人専門家によるセミナー、技能競技委員の訓練、国内競技大会実施への支援 技能競技大会セミナー（情報ネットワーク施工） <b>技能検定</b> ・目標：国家検定制度の構築、SESPP協力職種のアセスメントセンター認定 ・活動：2024年事業のフォローアップ（技能評価トライアル） 職種案：2024年度事業のフォローアップ（機械検査2級SEM(or SAT)/SET）、新職種（機械加工） カンボジアの国家検定制度構築への協力
今後の取り組みに向けた意見交換	・技能競技大会セミナーは情報ネットワーク施工をカンボジア国内競技大会で模擬競技を実施し、技能検定の3職種は評価者認定を行い、それぞれの職種で認定評価者が誕生したことで、全てゴールをむかえることが出来た。(SESPP事務局) ・カンボジアでは現場で働く技能労働者の多くは資格を持っていないので、技能評価を受ける機会を作ることをカンボジア政府に要望する。(NTTI)

## ■ベトナム

日時 参加者	2025年2月24日(月) ベトナム時間9:30-12:00 サイゴンハイテクパーク訓練センター(SHTP-TC)、厚生労働省、企業(日系、現地)、研修受講者、 トライアル合格者、SESPP事務局
参加者数	39人
本年度の 実施内容	<b>技能検定</b> <b>〈南部(ホーチミン)〉</b> ・機械検査2級 技能評価技法研修(SEM)、技能評価トライアル(SET) ・シーケンス制御2級 技能評価技法研修(SEM)、技能評価トライアル(SET)
次年度の職種に 係る提案内容	<b>技能検定</b> ・目標：SESPP協力職種の社内検定・業界検定の構築 ・活動：2024年事業のフォローアップ(セミナー、技能評価トライアル、技能評価者認定) 職種案：機械検査2級SET/SAC、シーケンス制御2級SET/SAC 必要に応じ、新たな職種の社内検定・業界検定の構築への協力(機械製図CAD作業?)
今後の取り組みに 向けた意見交換	・多くの企業からSETへの受検者を派遣いただいております、合格者は各社ごとの社員教育の際の指導 にもあたってほしい。(SHTP-TC) ・ものづくりの現場(生産工場)では、機械検査にBluetoothのようなデジタルを取り入れていると 聞いているが、日本の技能検定では、機械検査の測定方法の基礎を学んでもらうことを目的とし ているので、現状ではデジタルは取り入れていない。(厚生労働省) ・SHTP-TCとしては、2025年度のSESPP事業に協力していきたいと考える。 継続中の機械検査2級、シーケンス制御2級に加え、提案のあった機械製図CAD作業も新規 で実施したい。(SHTP-TC)

## □研修レポート

### ■ベトナムにおけるシーケンス制御2級の技能評価技法研修(SEM)、トライアル(SET)

2024年12月23日(月)～12月27日(金)にシーケンス制御2級の技能評価技法研修(SEM)及び技能評価トライアル(SET)がグエンタットタン大学(NTTU)にて実施されました。

SEMの受講者は6名、SETの評価者は6名、受検者は9名で、内3名の合格者が出ました。

SEMではまず、基準と細目に基づいて、学科試験問題、計画立案等作業試験問題、製作等作業試験(実技試験)問題の概要、構成、作成方法等にかかる研修を行いました。更に安全についての考え方の講習の後、実技試験運営上の留意点の確認、設営準備についても学びました。SETでは、研修4日目に学科試験、計画立案等作業試験、製作等作業試験が実施され、5日目を中心に採点及び試験結果表を作成し、研修を修了いたしました。

講師の安原 雅彦氏(職業能力開発総合大学校 特定准教授)からは、『受講者は真剣に取り組み、自分の役割を十分に理解して行動することができており、全員問題なくスムーズにSETを実施できたと思う。SET中のトラブルの対応や製作課題の動作確認での異常時における緊急停止など、安全についての意識が高まったと確信している。評価対象者が評価者認定を受け、更なるベトナムの発展のために活躍されることを期待している。』、清野 政文雅彦氏(同 特定准教授)からは、『会場設定等、事前の打合せ通りに準備出来ており、適した環境で研修を実施することができた。また、既に認定評価者の資格を持っている3名の協力者は、先を見通したアドバイスを評価者へ与えて、スムーズに進めることができた。』等の講評をいただきました。

日本の技能検定でも2級の合格率は約29%で、今回合格者が3名出たことは、ベトナムの技能労働者のレベルが高いことを示す、たいへん喜ばしい成果といえます。



専門家による講義風景



技能評価トライアル(学科試験)風景



技能評価トライアル(実技試験)風景

## □カンボジアにおける技能検定・技能競技大会に係る成果について

カンボジアにおけるSESPP事業、技能検定分野への支援は、2015年度に開始され本年度までにシーケンス制御2級、配電盤制御盤組立て作業3級・2級、電気系保全3級・2級、機械検査3級の研修課程が修了しています。

それぞれの職種・等級でSESPP派遣の専門家の認定による評価者が誕生しています。同国でのSESPP支援職種の技能検定を行う人材は育成されたこととなり、上記職種のカンボジア政府による、国家検定制度の構築、アセスメントセンター認定、さらには国家技能検定の実施が期待されます。

各職種で誕生した認定評価者と技能評価トライアル合格者の人数は以下の通りです。

職種	等級	認定評価者数	トライアル合格者数
シーケンス制御	3	-	9名
	2	7名	-
配電盤制御盤組立て作業	3	5名	1名
	2	11名	1名
電気系保全	3	7名	5名
	2	6名	2名
機械検査	3	11名	10名

技能競技大会にかかるセミナーは2021年度より情報ネットワーク施工職種が開始され、オンラインによる研修が1回、現地研修が4回、日本での研修が2回を実施し、競技大会を運営する人材の育成を行ってきました。最終的には、2024年10月にカンボジアでの国内技能競技大会の際に実施された同職種の模擬競技への指導を行い、本事業での支援を締めくくることができました。

カンボジア政府によると、2025年8月開催の『WorldSkills ASEAN Competitionマニラ大会』への参加、2026年度の『カンボジア国内技能競技大会への正式職種としての採用』等を目標としているとのこと。同職種のカンボジアにおける更なる技能の発展、競技大会での定着が期待されます。



機械検査3級



電気系保全2級



情報ネットワーク施工模擬競技表彰者

### 『J-Skills News』に関するお問合せ

SESPP事務局（株式会社JTБ 霞が関事業部）  
 〒100-6051 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング23階  
 TEL：+81-3-6737-9263 FAX：+81-3-6737-9266  
 担当：近藤・池田・岩下  
 E-mail：[sespp@jtb.com](mailto:sespp@jtb.com)